



【内容】 <目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して目指す具体的な資質・能力>						
学年	第1学年(50時間)	第2学年(70時間)	第3学年(70時間)	J組(50時間)		
大テーマ	“自分”の近くのこと	“自分”の周りやふるさとのこと	“自分”と社会のこと	“自分”の将来のこと		
(小テーマ) 探究課題	(前期)明海の街の魅力とは何だろう (後期)人はなぜ働くのか(働くために必要な力)	(前期)人にとってふるさととは何か (後期)地域にとって祭りとは何だろう (地域の祭りへの参加)	(前期)明海の魅力とは何だろう (明海の魅力の世界に発信) (後期)自分のテーマ探究	自分のことを知り、将来のことについて考えよう		
探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力	知識及び技能	・地域の様々な立場の人が支え合い、協力し合っていることを理解することができる。 ・働くことの意味や意義は多種多様に存在することを知る。	・働くために必要な力を知ることで、働くということや仕事の現場のニーズについて知ったりする。 ・街づくりや地域活性化のために取り組んでる人々や組織を知る。	・これまで学んできたことをもとに、地域のよさに気づき、それらが学校につながってきていることに気づく。 ・自ら学んできたことをもとに、仮説を立てそれに向け自ら検証し、テーマに対して答えをもつ。	・自分自身の長所、短所に気づき、伸ばしたいところはどんなところか考える。 ・働く人々の話や実際の体験を通じて、自分自身の進路について考えを深める。	
	思考力、判断力、表現力等	課題の設定	・自分たちを取り巻く地域や社会に広く目を向けて、活動の意図や目的を明確にしなが課題を見出している。 ・解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てている。			
		情報の収集	・目的に応じて最適な情報を選択収集し、適切な方法で蓄積や処理をしている。 ・他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択している。			
		整理・分析	・調査した事象に関する現状や課題、関係性を把握し、分類して多様な情報にある特徴を見つけている。 ・事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考察し、視点を定めて多様な情報を分析している。			
		まとめ・表現	・調べたり考えたりしたことを論理的にまとめ、相手や目的、意図に応じた表現方法をしている。 ・国語科や英語科等で身につけた技能を活用して表現している。			
		振り返り	・学習の仕方や進め方を振り返り、獲得した知識を、他の学習や生活にも生かそうとしている。 ・振り返りの視点を自己で設定して活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。			
	学びに向かう力、人間性等	自己理解	・探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。			
		他者理解	・探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。			
		主体性	・自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。			
		協働性	・自他のよさを生かしながら他者と協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。			
社会参画	探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとしている。					

<b>【学習活動】</b> ・地域の実態、生徒の実態、小学校との系統性、生徒の興味関心を踏まえた、探究課題の設定をする。 ・地域の自然、歴史、人、もの、ことを生かした学習活動を行う。 ・学習成果を表現する場として、全校集会や校内展示、学年通信、文化祭などを活用して発信する。 ・年間大テーマ1(および、それに準ずる小テーマ1～3程度)の取組を基本とする。 ・ICTを活用した学びを行う。	<b>【指導方法】</b> ・生徒の課題意識を連続、発展させる支援と工夫を行う。 ・個別最適化な指導の工夫を行う。 ・体験活動を重視する。 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。 ・言語により整理したり、まとめ・表現したりする学習を重視する。 ・協働的な学習を充実させるため、思考ツールを積極的に活用する。 ・PDCAサイクルを活用し検証や分析、改善策までを講じた活動とする。	<b>【指導体制】</b> ・全校指導体制を組織する。 ・運営委員会における校内の連絡調整と指導体制を確立する。 ・ワークショップ研修を重視する。 ・地域の教育資源をデータ化するとともに、日常的な関わりを行う。 ・適宜、ゲストティーチャーを招聘したり、地域、保護者に協力を仰いだりする。 ・課題設定において4つのPを重要視する Placed→関心のある場所と関連しているか Purposeful→成果物は他の人が使えるものか Pervasive→学校外でもやりたくなるものか Passion-led→熱意をもって取り組めるものか	<b>【学習評価】</b> ・ルーブリックを作成し評価の充実を図る。(達成した状態をAI等を使用し言語化する) ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。 ・個人内評価を重視する。(要求されたスキルを高めたか) ・指導と評価の一体化を充実する。 ・授業分析による学習指導の評価を従事する。(要求された教科内容を学んだか) ・期末、学年末には指導計画を評価・改善し、次年度の計画に生かす。
--	--	--	--

【各教科等との関連】		
各教科等	道徳教育	特別活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>学ぶ意欲と傾聴する力の向上</li> <li>探究的な学びの素地を養う</li> <li>協働的な学習場面の設定</li> <li>わかる授業、活気のある授業の展開</li> <li>知識及び技能の確実な習得と活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳化の授業を要として、思いやる心を育む</li> <li>指導の重点項目 「心理の探究、創造」 「思いやり、感謝」 「社会参画、公共の精神」 「相互理解、寛容」 「強度の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団内y事故の生活上の課題を解決する。</li> <li>合意形成や意思決定できるようにする。</li> <li>役割を分担して協力して実践する。</li> </ul>
<b>【学区小学校との連携】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域イベントへの共同参加</li> <li>体育祭、合唱祭への相互参加</li> <li>生徒会、生活委員での合同キャンペーンの実施</li> <li>教材の共同開発</li> <li>小中双方向からの学習・生活面での日常的な協力指導</li> </ul>		